学校番号	305

令和　三　年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ（理系）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選　古典Ｂ　改訂版」（大修館書店）						
副教材等	「読解をたいせつにする　体系古典文法　八訂版」（数研出版） 「七訂版　読解をたいせつにする　古典文法ノート　読解演習編」（数研出版） 「理解を深める　核心古文単語３５１」（尚文出版） 「巻頭増補版　最新国語便覧」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典を読むことで、日本の歴史や文化・伝統への関心が深まり、ものの見方・考え方が広がっていき、人生が豊かになります。古典を読むためには、古典文法、古典単語、古典常識を理解し、自分で文章読解を進めていく必要があります。日々の予習、復習も自主的に行なってください。また、提出物は完成度を高めて、より着実に力をつけていくことを目的として取り組んでください。

2　学習の到達目標

古典としての古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、問題集、補充プリントなど）			・記述の確認および分析（問題集） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認（ノート、問題集、補充プリントなど） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間考査	説話	大江山いくのの道(『十訓抄』)	○			◎	○	a: 既習の助動詞が習得できているかを確認している。 d:小式部内侍の和歌が高く評価された理由を、修辞に着目し説明できる。 e:歌合、直衣、御簾等の古典常識を理解できる。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	物語(一)	かぐや姫の昇天(『竹取物語』)	○			◎	○	a:登場人物の言動から、古人のものの見方をとらえようとしている。 d:敬語表現から登場人物の地位を推定できる。 e:係り結びや敬語の基礎を習得する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
七月考査	随筆(二)	中納言参りたまひて(『枕草子』)	○			◎	○	a: 『枕草子』や清少納言、また随筆文学について関心をもち、理解を深めようとしている。 d:作者の機知とその場にもたらされた笑いについて読み取っている。 e：平安時代の宮中の様子や、作者をとりまく人間関係について理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	故事成語	糟糠之妻(『後漢書』) 塞翁馬(『淮南子』)	○			◎	○	a:故事成語の叙述のおもしろさを味わっている。 d:寓意を含む表現について、作者の意図を正確に読み取っている。 e:漢文訓読のきまりや基本的な句法への理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

前期期末考査	物語(一)	関守(『伊勢物語』)	○			◎	○	a:歌物語について、また、歌物語における和歌の役割について理解を深めようとしている。 d：和歌と地の文との融合に注意し、和歌に込められた登場人物の心情を読み取っている。 e：『伊勢物語』の文学史的な位置づけについて理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	日記	あこがれ(『更級日記』)	○			◎	○	a:『更級日記』や作者菅原孝標の女について関心をもち、女流日記文学への理解を深めようとしている。 d:作者少女時代の、物語への強いあこがれを読み取っている。 e：接続助詞の意味を確認する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
後期中間考査	物語(三)	桐壺(『源氏物語』)	○			◎	○	a:『源氏物語』と紫式部について関心をもち、理解を深めようとしている。 d:教科書の人物関係図なども参考に登場人物の人間関係を読み取っている。 e:平安時代の宮中の様子や、結婚形態、習慣などについて、基本的な事柄を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	史伝	鴻門の会(『史記』)	○			◎	○	a:『史記』や歴史物語のおもしろさを読み取ろうとしている。 d：『史記』の巧みな描写や構成など、すぐれた表現を読み味わっている。 e：秦の滅亡と漢楚の攻防についての歴史的事実を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

学年末考査	史伝	項王の最期(『史記』)	○			◎	○	a:様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深めようとしている。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 e：登場人物の行動や心情を読み味わう。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	物語(二)	競べ弓(『大鏡』)	○			◎	○	a:『大鏡』や歴史物語について関心をもち、理解を深めようとしている。 d:道隆と道長の葛藤や、道長に圧倒される伊周の様子を的確に読み取っている。 e:藤原道長と藤原氏についての歴史的事実を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。